世界スカウトジャンボリー特集

2015年7月26日（日）～8月8日（土）　山口市阿知須・きらら浜他にて

23WSJ

第２３回世界スカウトジャンボリー
世界162の国と地域から約3万人の青少年が集まり、約2週間にわたって、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共有しました。

私は、今回の世界ジャンボリーでは、主に外国人スカウトとの交流を目的とし臨みました。
私達、0508隊は、浜松東地区、磐田地区、浜松地区の混成で編成されました。
最初は、班や隊の中でも緊張し、なかなか打ち解けることができませんでしたが、活動を重ねるごとに班や隊の仲が良くなっていき、最後には別れたくないと思うほどになっていました。
外国隊との最初の交流会では外国人スカウトが伝えようとしていることが理解できない事や、自分の思っている事を上手く伝えることが出来ない事に戸惑いましたが、日が経ち、交流会を重ねるにつれ、相手が何を伝えたいのか、どうやったら自分の意思が上手く伝わるかがわかるようになってきました。
それは、毎日、日本語以外の言語に触れて過ごし、言語が通じなくても積極的に外国人スカウトと接してきた成果だと思います。
そして、交流会が終盤に近づくにつれて外国人スカウトとの距離も縮まり、お互いに自国の事についての話もしました。言語や文化が違っていても私達スカウトの間の壁は全く感じられなくなりました。
そこで、私は、スカウトは友情にあついという”ボーイスカウトのおきて”の一つを実感しました。

活動プログラムで特に印象に残っているのが、広島の平和記念館を見学した事です。
原爆や戦争について調べたり、テレビで被爆者の方のお話を聞いたりする機会があったので、どのようなものかは知っているつもりでいました。しかし、記念館で実際に展示物を見て改めて戦争が恐ろしく悲しいものだと思い知りました。このような戦争が二度と起こらないよう、世界が平和であるために、私達はちかいとおきてを実践し互いに尊重しあい生活していきたいと思います。
私は、今回の世界スカウトジャンボリーに参加し、外国人スカウトと交流や親睦を図り、自分を高める事ができた事に感謝し、後輩スカウトにもこのことは伝えていきたいと思います。
今後も、ボーイスカウト活動に積極的に参加していこうと思いました。

ベンチャー隊　S